

製品安全データシート

作成日 2025年5月7日

1. 化学品及び会社情報

製品名 γ -(2,3-epoxy propoxy) propyl tri methoxy silane (商品名: KH-560)

会社名 アーク株式会社

住所 大阪市中央区安土町 3-5-13 本町ガーデンシティテラス 3階

電話番号 06-6563-7710

FAX 番号 06-6563-7720

推奨用途及び使用上の制限 一般工業用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 JIS Z 7252、7253:2019 使用

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2A

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報 皮膚刺激

強い眼刺激

注意書き

[安全対策]

取扱い後は手や顔をよく洗うこと。

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

[応急措置]

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

[保管]

容器を密閉して、換気のよい場所で保管すること。

施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区別 化学物質

化学名又は一般名 γ -(2,3-epoxy propoxy) propyl tri methoxy silane

別名 3-Glycidyloxypropyltrimethoxysilane

Glycidyl 3-Trimethoxysilylpropyl Ether

化学式 C₉H₂₀O₅Si

	CAS 番号	濃度	官報公示整理番号
3-グリシジルオキシプロピルトリメキシラン	2530-83-8	≧98.0%	化審法：(2)-2071、安衛法：公表化学物質
メタノール	67-56-1	2.0%≧	化審法：(2)-201、安衛法：公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

応急措置をする者の保護 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 粉末, 泡, 水噴霧, 二酸化炭素

使ってはならない消火剤 棒状水

火災時の特定危険有害性

燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

個人用保護具を着用する。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

十分に換気を行う。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項

製品が排水路に排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

安全取扱注意事項

蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。

皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

保管

適切な保管条件

容器を密栓して冷暗所に保管する。

不活性ガスを充填する。

湿気を避ける。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料 ガラス、フッ素樹脂

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

3-グ リジ ルキフﾟ ロピ ルトリトキシラン 設定されていない。

メタノール

日本産業衛生学会 許容濃度

TWA：200ppm OEL、260mg/m³ OEL

ISHL/ACL：200ppm

管理濃度 作業環境評価基準：200ppm

ACGIH

TWA：200ppm (260mg/m³)

設備対策

作業者が直接ばく露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具 防毒マスク、簡易防毒マスク等

手の保護具 保護手袋

眼、顔面の保護具 保護眼鏡。状況に応じ、保護面

皮膚及び身体の保護具 保護衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 液体

形状 透明

色 無色 ～ ほとんど無色

臭い 情報なし

融点／凝固点 < -50°C

沸点又は初留点及び沸騰範囲 290°C (760mmHg)

引火点 110°C

自然発火点 400°C

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 下限：情報なし、上限：情報なし

pH 7 (25°C)

溶解度 [水]：情報なし、 [その他の溶剤]：情報なし

n-オクタノール/水分配係数 情報なし

密度及び／又は相対密度 (g/cm³) 1.070 (25°C)

蒸気圧 0.00213 mmHg (25°C)

粘度 3mPa・s (25°C)

動粘性率 情報なし

相対ガス密度 情報なし

1 0. 安定性及び反応性

反応性 情報なし

化学的安定性 適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性 特別な反応性は報告されていない。

避けるべき条件 高温と直射日光, 熱、炎、火花, 静電気、スパーク

混触危険物質 強酸化剤

危険有害な分解生成物 二酸化炭素、一酸化炭素、ケイ素酸化物

1 1. 有害性情報

急性毒性

ihl-rat LCLo:5300mg/m³/4H

skn-rbt LD50:4247.9mg/kg

皮膚腐食性／刺激性 皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 眼への刺激

生殖細胞変異原性 情報なし

発がん性

IARC =情報なし

NTP =情報なし

生殖毒性 情報なし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 情報なし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 情報なし

誤えん有害性 情報なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性

魚類 LC50 : 237mg/l、96h

甲殻類 EC50 : 40mg/l、48h

藻類 EC50 : 40mg/l、72h

残留性・分解性 情報なし

生体蓄積性 (BCF) 情報なし

土壤中の移動性

オクタノール/水分配係数 情報なし

土壌吸着係数 (Koc) 情報なし

ヘリ定数 (PaM3 /mol) 情報なし

オゾン層への有害性 情報なし

1 3. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 非該当

国連分類 非該当

副次危険性 非該当

容器等級 非該当

国内規制

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にいき、法令の定めるところに従う。

1 5. 適用法令

消防法 第4類 第三石油類 危険等級III 非水溶性

化管法 (PRTR法) 第1種指定化学物質

労働安全衛生法

皮膚等障害化学物質等 (トリメキシ-[[3-(トリメキシシリル)プロポキシ]メチル]オキシラン) (メタノール)

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (メタノール)

作業環境評価標準で定める管理濃度 (メタノール)

1 6. その他の情報

この SDS は、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載の

データや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。

ご購入いただいた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。

その後、新たな情報や修正が加えられる場合もありますので万一ご使用時期が大幅にずれ込んだり、ご懸念を抱かれた場合には、改めて弊社にご相談ください。

また記載の注意事項は通常取扱を対象としたものであって、特別な取扱をする場合は状況に適した安全対策を実施の上、十分な注意を払う必要があります。

すべての化学製品は『未知の危険性、有害性がある』という認識で扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。

ご使用各位の責任において安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。